

産連談話室

「訪問歯科と誤嚥性肺炎の予防」



医療法人社団明法会
高山歯科医院
高山 史年

こうらい区議からのご紹介で今回執筆させていただきました。医療法人社団明法会高山歯科医院の高山史年と申します。

まずは私も明法会の略歴を説明いたします。当法人は今から十八年前に練馬区東大泉に開設いたしました。その後、豊島区の千川、板橋区の小豆沢の2ヶ所に歯科診療所を開設し、現在診療所は3カ所となっておりますが、それぞれの診療所の中に訪問歯科診療部門の「明法会デントール」があります。私たちは、各診療所で地域医療に貢献することは、もちろんですが、今後予想される高齢者社会での訪問歯科診療の担い手として「明法会デントール」を立ち上げました。地理的に条件の良い3ヶ所の診療所を最大限活用しながら訪問歯科診療を行ってまいります。

さて、私たちが力を入れている訪問歯科診療とは、簡単にいえば「歯医者さんの往診」のことです。要介護認定を受けてご自宅や施設で療養している高齢者や、体が不自由な障がい者の方などで、歯科医院へ外来で通院することが困難な方のために、歯医者さんと歯科衛生士が、ご自

宅や施設へ直接訪問し、診察・治療・メンテナンス診療などを行う、歯科診療のことです。

訪問歯科診療の主な内容としては、むし歯の治療、歯石の除去、入れ歯の修理や調整、新しい入れ歯の制作、口腔ケアの指導、誤嚥性肺炎の予防、口臭予防、摂食・嚥下訓練など多岐にわたっています。訪問歯科を利用することにより、最近では高齢者に多い病気で誤嚥性肺炎を予防することが判ってきています。誤嚥性肺炎は、口腔内の細菌などが気管に入って発病する病気です。口腔内が大変不潔な状態にあり、体力が低下している方は、食物の残りがすなどが気管に入ると、細菌感染が起りやすいといわれています。その結果、肺炎に移行しやすくなります。口腔内を清潔に保つことは、虫歯や歯周病の予防だけでなく、誤嚥性肺炎などの予防にもつながることから、健康維持のために大切なことといえます。

誤嚥性肺炎の起り方は主に2つあります。ひとつは食事中に飲食物が食道ではなく誤って気管に入るもの。たいていの場合はむせる事で気管から異物を吐き出そうとしますが、一部が気管に入ってしまうものです。もうひとつは睡眠中気づかないうちに、細菌を含んだ唾液を誤嚥してしまうもので、実際にはこちらの方が多いといわれています。高齢者は気管支の線毛運動が弱いうえ、せきをする力も弱いので、気管に細菌が入っても出すことが出来ず、肺炎を起してしまいます。特に脳卒中(脳血管障害)の後遺症がある人や感染に対して抵抗力が弱い人、老化によって物が飲み込みにくくなる嚥下機能が低下している人などは要注意です。

気をつけるべき嚥下障害の症状としては、

- 1) 食べ物を飲み込みにくくなった。
 - 2) 飲み込みのとき痛みがある。
 - 3) 食べ物がよくのどに詰まる。
 - 4) よくむせる。
 - 5) 飲み込んだ時に声がかすれる。
 - 6) よく発熱したり肺炎や気管支炎を繰り返す。
- などですので、誤嚥の予防にはまず正しい姿勢で食べるのが大切です。

いくら座って食べるのが基本だといっても、危ない座り方もあります。一番危険なのは背もたれをリクライニングにし、そっくり返るような姿勢で食べることです。この姿勢でゴックンしてみてください。飲み込めないでしょう。この姿勢はあごが伸びるので飲み込もうとしてものが上下に動きません。のどの上下の動きは、嚥下するときに気管にふたをして食べ物が気管に入らないようにする「嚥下反射」と連動しています。つまり、のどを動かせない状態は、気管が開きっぱなしになるといいうこと。そこへ上から食べ物が流れ込むのは、誤嚥というよりも窒息状態になり大変危険です。

このような今まで歯科医院では取り込みがされていない分野に参入しながら、私たちの法人は練馬区や他の地域にある有料老人ホームや特別養護老人ホームさらには居宅に訪問歯科診療をさせていただき今後の高齢者社会にあつた歯科診療を地域に提供するよう日々努力しております。

次のバトンは

兄である協和監査法人の高山昌茂
にお願いします。

産連ニュース



新年号

第59号
平成25年1月31日

社団法人 練馬産業連合会
TEL 03-3991-0530 FAX 03-3994-8008

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-23-10
<http://www.nerima-sanren.jp/>



創作盆栽 “紫爛桜”

表紙の創作盆栽“紫爛桜”は、練馬区手工芸作家連盟 会長 川井淳子様
の作品です。

手工芸連盟は、平成8年（1996年）に川井様が代表となり設立され、会員の
お一人おひとりが各分野の作家を代表される意識の高い皆さんがほとんどで、
しかも、人間的魅力に満ち溢れた方々の集まりで、実に多彩な活動をされてお
ります。

国内での活動のほかに、フランス、オーストラリアなどでも文化交流をされ
ており、組織としての礎をしっかりと築いてこられ、手芸・工芸の30種に及ぶ
作家の皆様約80名が、作品を通じて交流を深めております。

この作品は、さくらの創作盆栽ですが、自然の精妙さ・奥深い美しさを逆に
感じさせる素晴らしいものです。川井様はルーブル美術館で行われた展示会に
出展し、プレミア賞を受賞されるなど、国内外で活躍されておられます。

目次

表紙(紫爛桜)	1
新年挨拶(区長・議長)	2
新年挨拶(横山正二会長)	3
新年賀詞交歓会開催される	4
春の健康診断	5
時間外・休日労働に関する協定届(36協定) ..	6
年末一時金妥結速報	7
産連談話室(高山史年)	8
街角の年金相談センター練馬	9
NIC(ねりま異業種交流会)のページ	10
事業予告(BCPセミナー他)	11
事業報告(ダンスパーティー・葉っぱい基金に寄付)	
編集後記	12